

## 令和7年度 第1回 浜松市立高等学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月15日（木） 15時45分から16時45分まで
- 2 開催場所 浜松市立高等学校 大会議室
- 3 出席委員 須賀淳子委員、杉浦友治委員、金田知久委員  
林左和子委員、富室俊和委員、小栗豊人委員
- 4 学 校 宮崎（校長）、河田（副校長）、夏目（事務長）  
飯田（教務課長）、蔵原（生徒課長）、岡本（進路課長）  
曾布川（保健環境課）
- 5 教育委員会 池谷（教育総務課）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会長選出  
全委員の賛同を得て、会長には同窓会会長の須賀委員が、副会長には令和6年度PTA会長の富室委員が承認された。
- 8 議長選出  
原則、会長が議長を行うこととし、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
- 10 会議記録
  - (1) 学校運営基本方針について
  - (1) 任命書交付  
宮崎校長より任命書を新委員に交付
  - (2) 校長挨拶  
入学式の式辞で生徒及び保護者をお願いした点を述べ、4月1日に着任してから、これまでの学校の様子、特に生徒の活躍や学校生活の環境について説明があった。  
朝は爽やかな挨拶から始まり、前向きな言葉が行き交っている感じである。模試や補習授業等も例年通り進んでいるところである。  
部活動においては、高校総体真っ最中であり、各部活動とも日頃の練習の成果を発揮しようと全力で取り組んでいる姿に大変感動している。すでに県大会が行われた部活動では、女子テニス部となぎなた部が団体と個人で全国大会へ出場する。西部地区大会において、陸上のトラック競技と男子バレー部が1位を獲得した。文化部では定期発表会を実施したり、萌葱際（6/7（土））に向けて、準備しているところである。マンドリン部が7月に全国大会へ出場し、書道部が1名、文芸部から3名が全国高文祭へ出場する。生徒には今後につながるものを掴み取ってもらいたいし、全ての生徒が健やかに成長できるようにしていきたい。  
委員の皆様には、学校運営について御意見をいただき、より良い学校を構築したい。
  - (3) 出席者自己紹介  
須賀委員（同窓会長）、杉浦委員（前広沢自治会長）、金田委員（浜松市教育会

館館長、元浜松市校長会会長)、林委員(静岡文化芸術大学教授)、富室委員(令和6年度PTA会長)、小栗委員(令和7年度PTA会長)

(4) 学校運営基本方針について(拍手により承認)

宮崎校長より、「グランドデザイン」及び「学校経営計画書」の説明があった。グランドデザインについては、特にスクール・ポリシーの中のカリキュラム・ポリシーにおける「生徒主体」及び「総合探究」について説明があった。学校経営計画書についても、本校の特色といえる部分を取り上げての説明があった。

(5) 学校近況報告(資料をもとに各課長、副校長から説明)

(P12) 教務課

本校の総合探究は「浜市総合講座」という名前で実施している。浜松学として、1年次は、地元の企業や本校のOB・OGの方々に来校していただき、仕事研究を行っている。また、昨年度(令和6年度)から1年次に、浜松市の課題について自己の興味にしたがって、探究活動・クラス発表に取り組んだ。2年次では、さらに発展させて浜松市政への提言ということで、静岡文化芸術大学の森山教授に御指導もいただきながら、探究活動及び発表活動を行っている。地元のことを調べ、考えながら、最終的に自己の探究とし、進路実現につなげている。

(P14~15) 生徒課

令和6年度は全国大会出場生徒が21大会で延べ250人に上った。満足度の高い部活動指導を目指す。

生徒が主体となって校則を見直すことを行っている。生徒会が中心となって実施しているところである。

現在、3年次の部活動は任意加入となっている。今後について、文武両道は本校の特色の1つであるので、じっくり丁寧に検討していく。

(P16~17) 進路課

年間計画に模擬試験の計画が入っているが、模擬試験の復習等をおして、自力を上げさせたい。

難関国立大学をはじめ、準難関国公立大学、難関私立大学への合格者数や入学者数の結果が出ている。先輩たちの姿を見て、後輩たちも頑張ってくれると思われるし、教職員がそれを支えていきたい。

(P18) 保健環境課

相談体制の充実について、本年度も浜松市スクールカウンセリング活用事業を活用し、スクールカウンセラーに来校していただく。毎週水曜日の実施となる。様々な声を拾っていきたい。

(6) 浜松市学校運営協議会規則(3, 8, 10, 12, 15条説明)

(7) 意見交換

- ・先生方が大変熱心に取り組んでおられる学校である。同窓会からもそういった学校や生徒の頑張りに引き続き応援していく。多くの同窓生が誇りに思っているのは間違いないし、大先輩の方々もずっとそう思っておられることを伝えてくださっているのも、大変有り難いことである。(須賀委員長)

- ・「浜市総合講座」について、これから地域間競争が激しい時代になると思われるし、浜松市はとてもポテンシャルのある都市だと思われるので、高校時代に社会人の方々にどんどん入ってきていただいて、講義を受けたり、また、自分たちから能動的に浜松のことを考えて活動することは大変意義深いことであり、有り難い活動であると思う。(小栗委員)
- ・グローバル人材の育成も、浜松では多くの外国からの方々が居住しておりまた、多様性も大切であるため、大切であると考えられる。英国語学研修で人生観が変わったという生徒もいるようなのでグローバル教育も大切である。(小栗委員)
- ・地域の方々から様々な意見を聞くのは大切であり、生徒にとってもそのような場があるのは大切なことである。例えば、制服について、地域の方々から見ると制服を見るとどこの生徒かが分かるという一面があるが、生徒だけの話し合いだとそういう意見が出てこないかもしれない。外の方々の意見を聞くと、今度はそこから生徒たち同士から違った意見や考えが出てくるということが考えられる。そこから出てきた結果はまた大切にされたい。(富室副委員)
- ・静岡文化芸術大学に15名の生徒が入学してくださっている。将来、地元でも活躍してくださる方々となる。大学入学共通テストの受験状況はどのような感じになっているのか。(林委員)
  - 私立大学であっても「共通テスト利用」や「共通テスト併用」が多くあり、また、本校では、国公立志望の生徒が多いためほとんどの生徒が受けている。(進路課)
- ・朝、宮崎校長が学校を出て挨拶運動のような活動している。市立高校だけでなく、近隣でもそのようなことをしてくれている学校がある。私も毎日とはいかないが、できるだけお手伝いをしたい。最近の高校生はとても元気がいいと思う。(杉浦委員)
- ・グランドデザインは、教職員が意識を一つにし、共通のものを目指して頑張ろうというものであるため、それが整理されており、キーワードも分かりやすくなっていると感じた。市立高校の先生方の「教える者こそ学び続ける」という姿を、例えばICTの授業への活用推進の姿からも見て取れることができる。先生方の個々人の持っている力をグランドデザインやスクール・ポリシーで高められて、これまでの伝統と相まって、より一歩いいものが雰囲気づくりとしてでも見られると思われる。地域の期待もあるので、委員自身も自己評価しながら、今後話し合いをしていきたい。(金田委員)

## 11 その他

次回学校運営協議会は10月29日(水)に実施し、第3回は2月5日(木)実施の予定である。